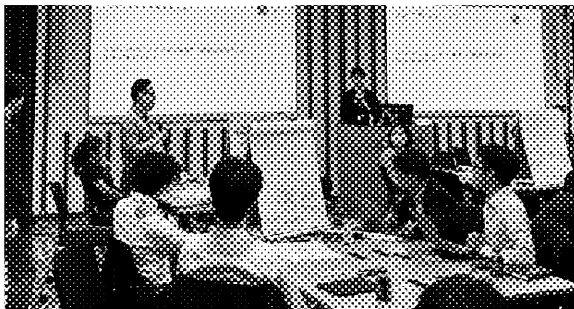


# 米MMSの研修提供

## アコーデイスアプリ開発導入支援

教育事業などを手がけるAKKODiS（アコーデイス）コンサルティング（東京都港区、川崎健一郎社長）は、米マイクロソフトが提供する研修「マイクロソフトパワーCATキックスタータープログラム」の提供を始めた。同研修はマイクロソフトが提供するアプリケーション開発のためのサービス「パワープラットフォーム」の導入を支援する。アコーデイスコンサルティングは研修を通じて、顧客のデジタル変革（DX）を促す。



マイクロソフトの研修を法人向けに提供し、企業のDXを支援する

アコーデイスコンサルティングによると、本国内では初めて、研修を提供するパートナーとしての認定をマイクロソフトから受けたという。研修は四半期に3回以上の頻度で開く。マイクロソフトが選定した企業に対しては無償で提供し、対象外の企業には有償で提供する計画。

アコーデイスコンサルティングの社員が講師を務める。受講者はマイクロソフトのサービスの運用方法や生成人工知能（AI）、「コパイロット」の使い方のほか、社員間で助け合うためのチームづくりについても学べる。

1テーマ当たり6～8時間をかけるといふ。アコーデイスコンサルティングはマイクロソフトのサービスを社内ですべて活用中で、社内ですべての社員も受講者に提供できる点を強みとする。2024年10月末には3日間、国内企業を対象に研修を実施したといい、製造業や金融業などから、のべ約80人が受講した。

マイクロソフトのパワープラットフォーム

は、プログラミングに精通していなくてもアプリを開発できるサービス。データの分析やウェブサイトの構築などもでき、業務の生産性向上に寄与する。